

最近の管内経済概況

(2020年11月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、
一部に持ち直しの動きがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、弱い動きがみられる。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、下げ止まりの動きがみられる。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2021年1月18日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2021年1月現在)

発表月	2020年8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの兆しがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	
生産活動	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
観光	一部に下げ止まりの動きがみられる	一部に下げ止まりの動きがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	弱い動きがみられる	
公共工事	増加している	減少している	減少している	増加している	減少している	減少している	
住宅建設	低下している	低下している	低下している	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	
民間設備投資	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数は同数、負債総額は減少している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

生産活動 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

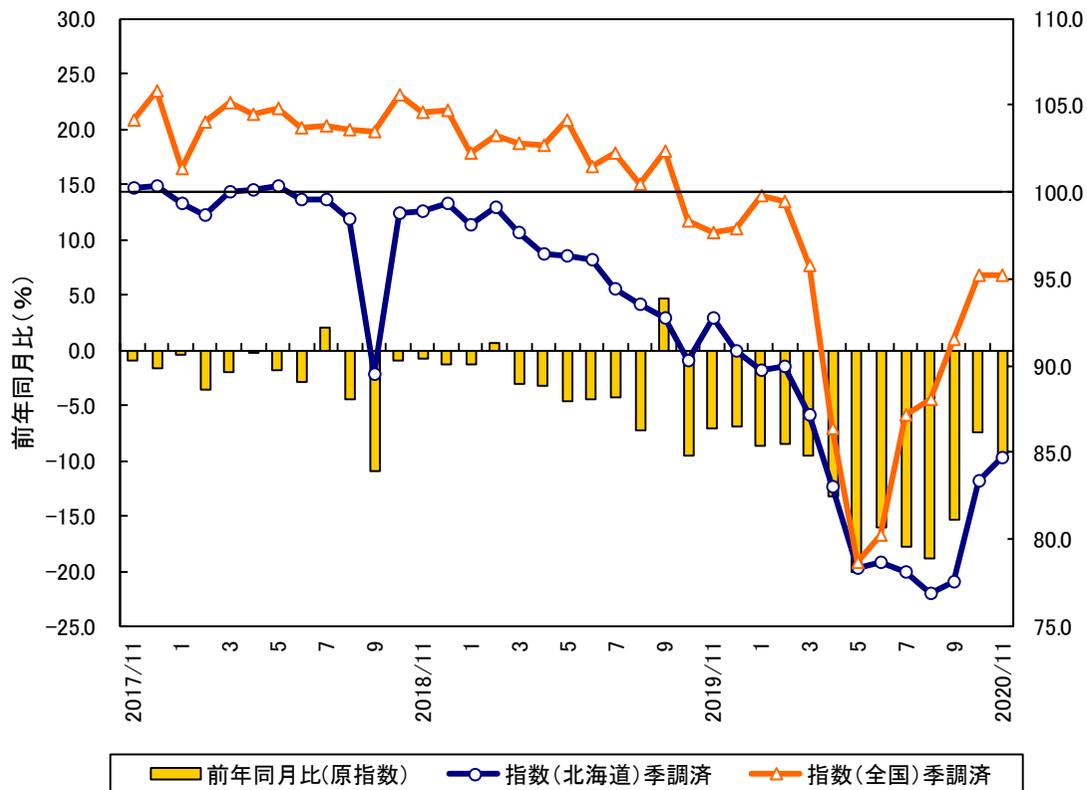
11月の鉱工業生産は、前月比+1.6%と3か月連続で上昇した。上昇業種は、鉄鋼業など6業種となった。低下業種は、パルプ・紙・紙加工品工業など7業種となった。

<11月>	
季節調整済指数	
北海道(速報)	84.7(前月比+1.6%)
全国(速報)	95.2(前月比0.0%)

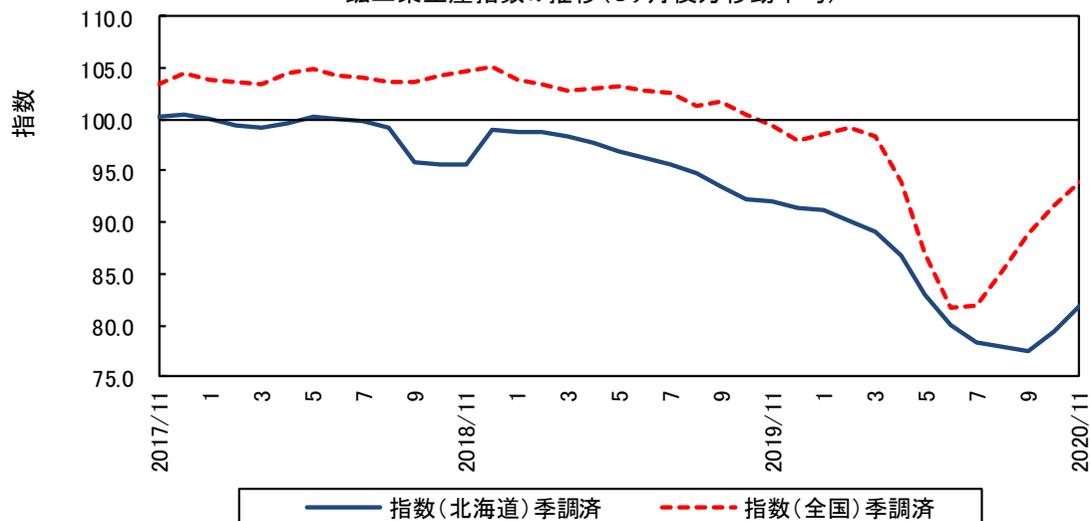
【ヒアリング内容】

- ・大規模な改修が終了し、自動車産業からの受注も好調であることから、鋼半製品の生産が増加した。(鉄鋼業)
- ・大型施設の受注があったことから、鉄骨の生産が増加した。(金属製品工業)
- ・生産設備の修理が続いていることから、印刷用紙の生産が減少した。(パルプ・紙・紙加工品工業)
- ・自動車部品の生産は好調であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で、先行きは不透明である。これまでのような状況が続くことを期待している。(輸送機械工業)

鉱工業生産指数(2015年=100.0)



鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)

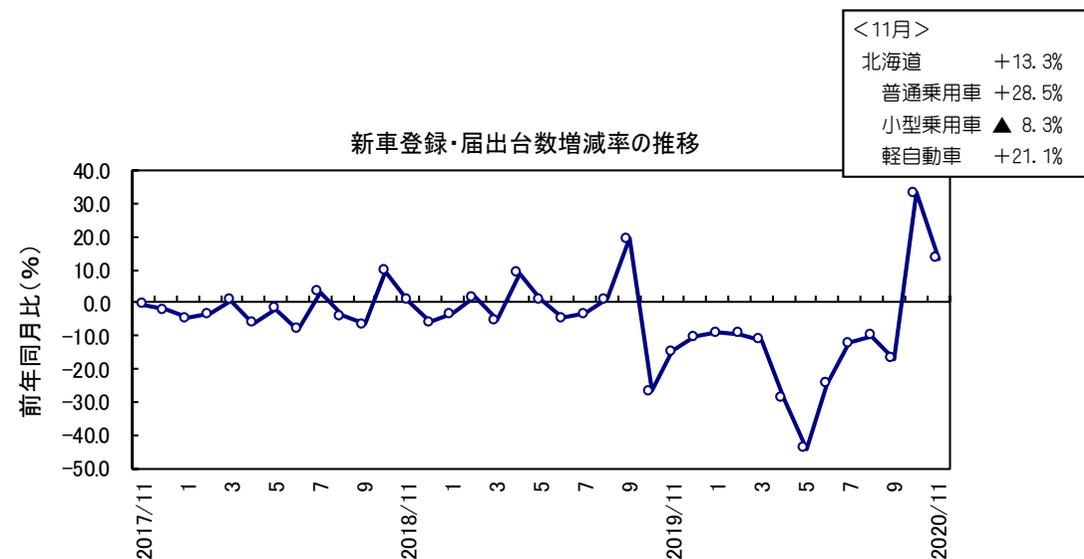
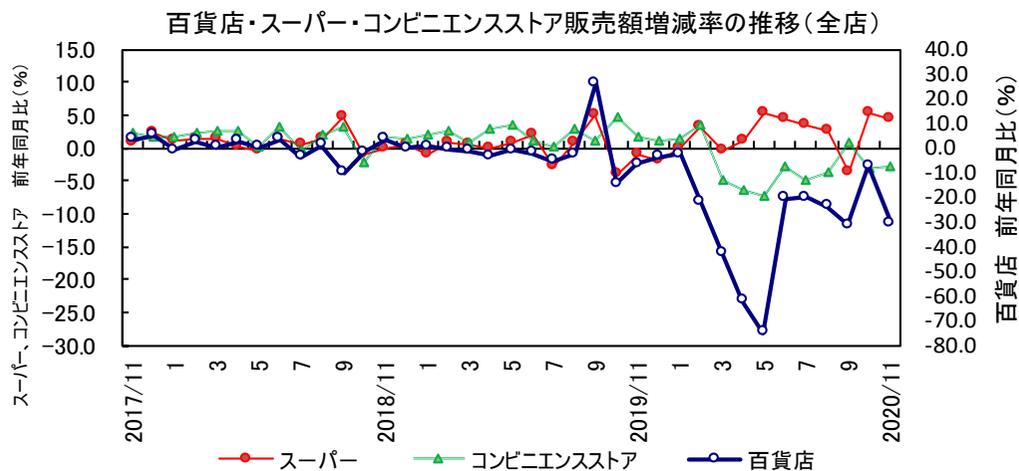


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

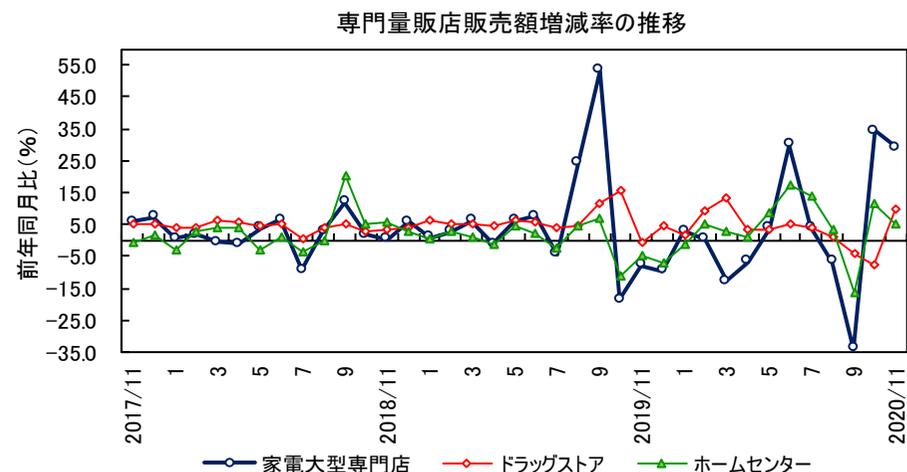
個人消費 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

1 1月の個人消費は、百貨店、コンビニエンスストアは前年を下回ったものの、他の業態は前年を上回った。

- 百貨店は、外出の自粛傾向などにより、前年同月比▲30.6%と14か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、内食需要の継続から、飲食料品が堅調だったことなどにより、同+4.4%と2か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同▲2.9%と2か月連続で前年を下回った。
- 家電販売は、同+29.0%と2か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+9.8%と3か月ぶりに前年を上回った。
- ホームセンターは、同+5.1%と2か月連続で前年を上回った。
- 新車販売は、同+13.3%と2か月連続で前年を上回った。



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)



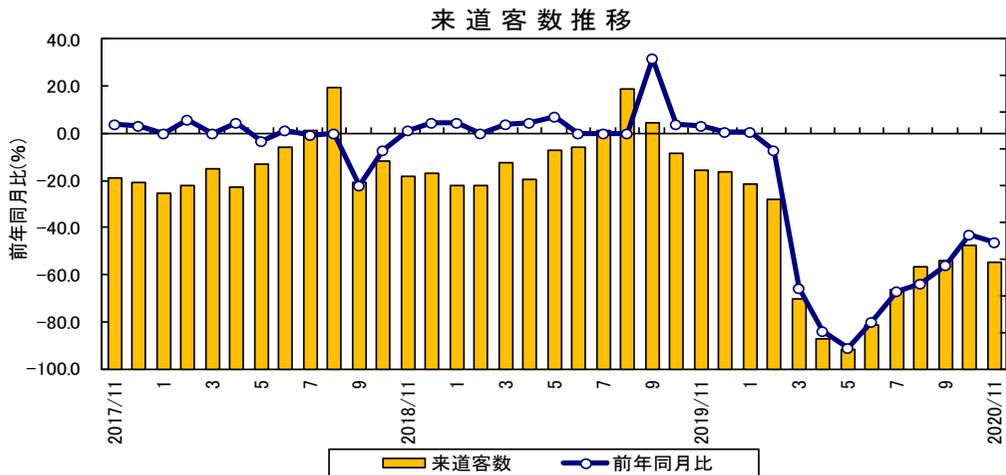
(資料：北海道経済産業局)

【ヒアリング内容】

- 徐々に回復しつつあった客足が、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルの引き上げにより、再び大きく落ち込んだ。(百貨店)
- 感染拡大により、巣ごもり需要が再び高まったことで、生鮮食品などの食料品の売上が好調だったほか、衛生用品や加湿器などの売上が伸びた。一方、衣料品は、外出自粛の影響に加え、気温が高かったことから、この時期の主力である防寒衣料が苦戦した。(スーパー)
- 客数の減少が続く中、警戒レベルの引き上げやG o T oトラベルキャンペーンなどの停止により、特に金曜日から日曜日にかけての週末に客数が大きく落ち込む動きがみられた。(コンビニエンスストア)
- 気温が高かった11月分の需要が後ろ倒しになった影響もあり、12月は除雪用品の売上が伸びている。(ホームセンター)

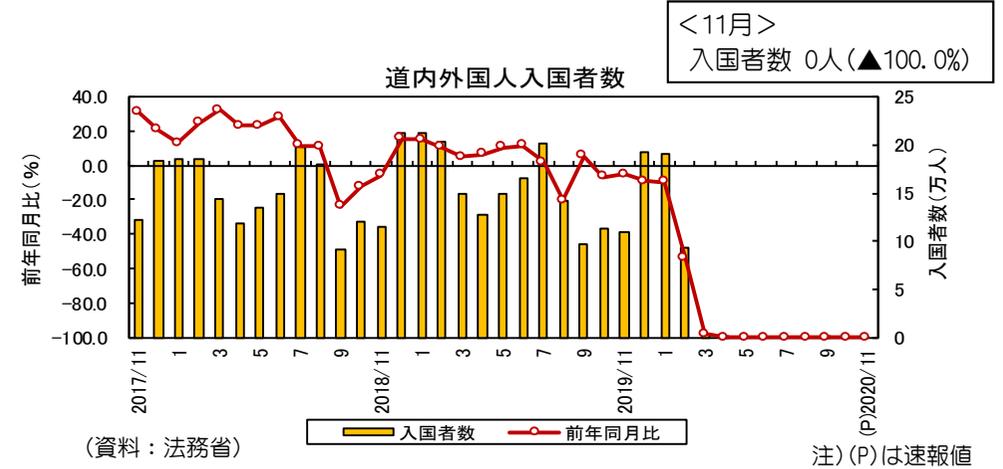
観光 ～ 弱い動きがみられる ～

11月の来道客数は、前年同月比▲46.4%と10か月連続で前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、0人で同▲100.0%と14か月連続で前年を下回った。



<11月> 来道客数 582,786人 (▲46.4%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

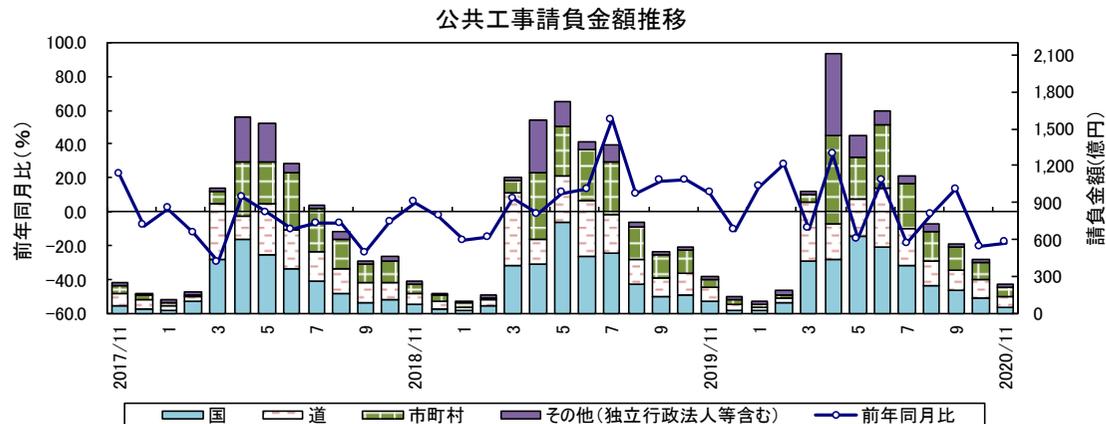


【ヒアリング内容】

- ・11月は平日と休日の差はあったものの、順調に観光客は増えていたが、下旬にGotoトラベルキャンペーンの札幌市を目的とする旅行への適用除外などが決まると、急激に観光客が減少した。(関係機関)

公共工事 ～ 減少している ～

11月の公共工事請負金額は、市町村は前年を上回ったが、国、道は前年を下回り、前年同月比▲18.3%と2か月連続で前年を下回った。



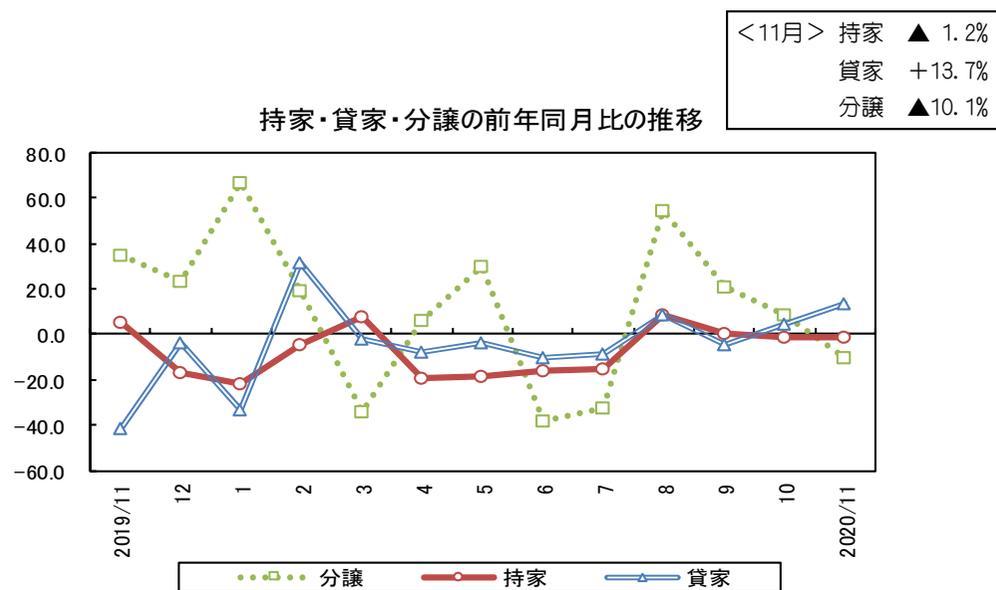
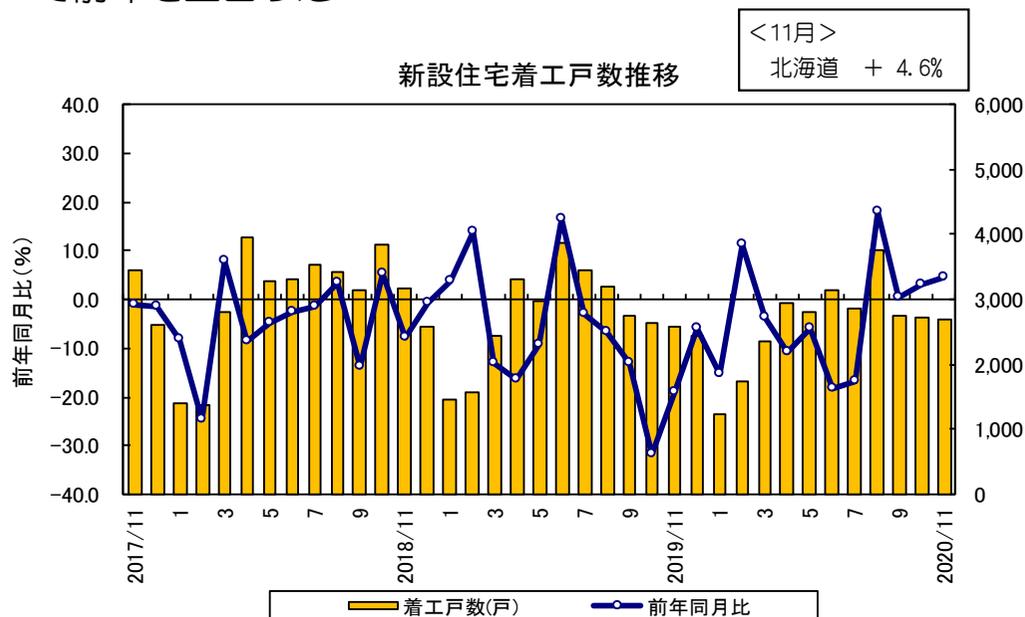
<11月>
 北海道 ▲18.3%
 (内訳)
 国 ▲51.3% 道 ▲17.7% 市町村 +10.6% その他 +76.0%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 下げ止まりの動きがみられる ～

11月の新設住宅着工戸数は、持家と分譲は前年を下回ったが、貸家が前年を上回り、前年同月比+4.6%と4か月連続で前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 減少している ～

2020年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲10.5%と4年ぶりに前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2020年12月14日発表

	2019年度	2020年度計画
北海道	+ 14.6%	▲ 10.5%
製造業	+ 17.7%	+ 5.8%
非製造業	+ 13.2%	▲ 18.4%
全国	▲ 0.6%	▲ 3.9%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2020年12月10日発表

	2019年度	2020年度
全産業	+ 17.8%	▲ 6.6%
製造業	+ 27.1%	▲ 13.4%
非製造業	+ 13.6%	▲ 2.1%

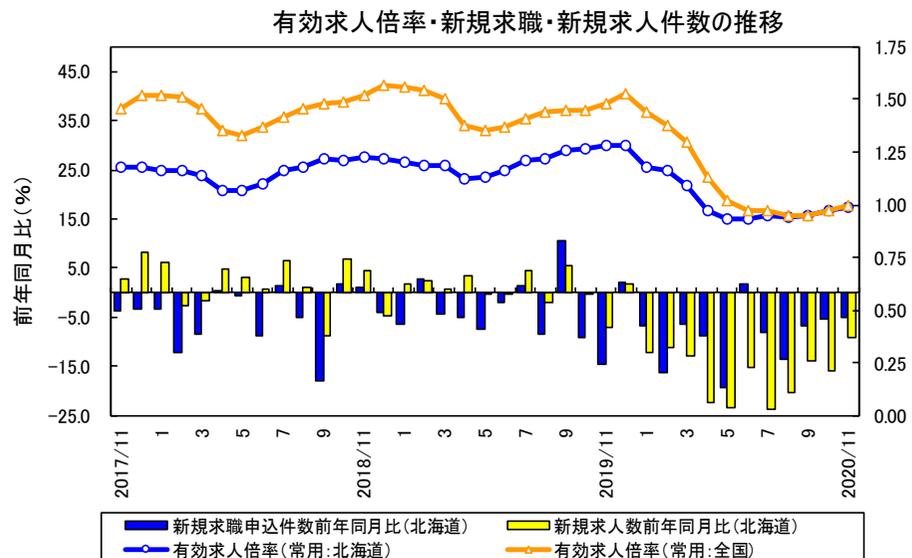
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

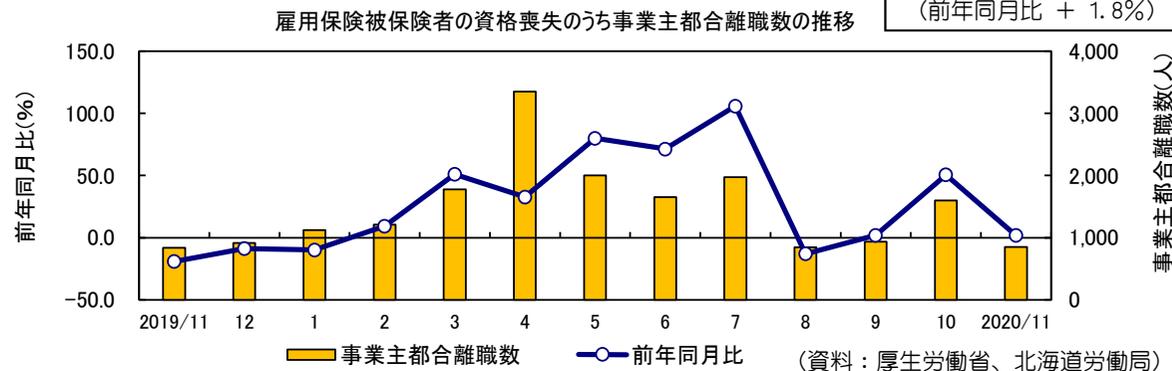
11月の有効求人倍率は、0.99倍と前年同月差0.29ポイント減少し、11か月連続で前年を下回った。



<11月>

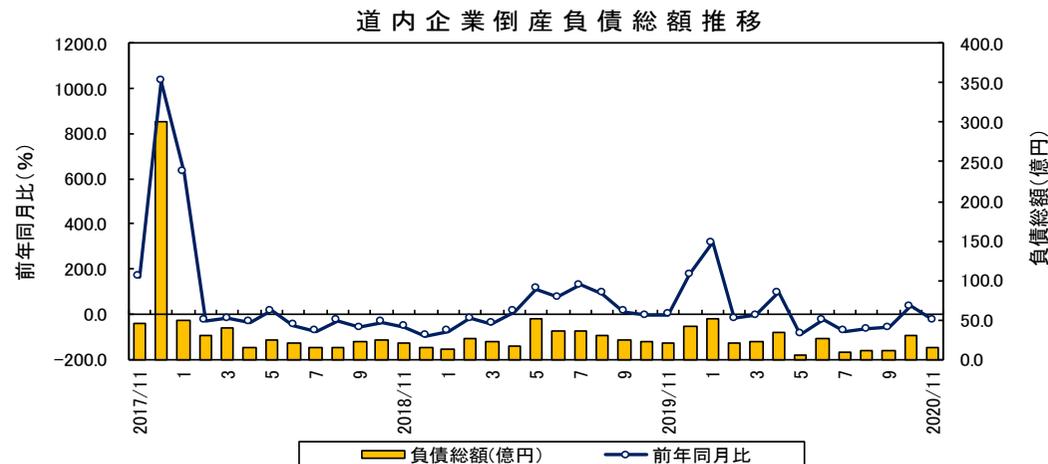
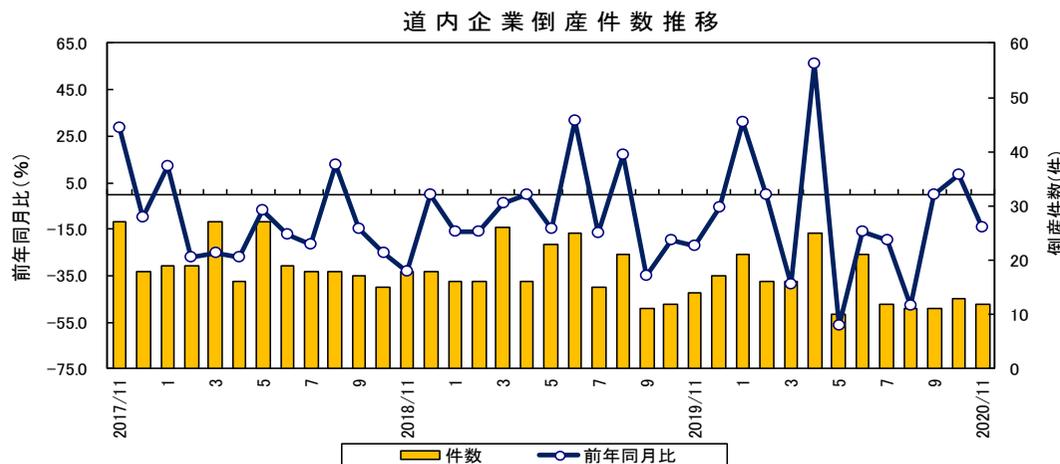
北海道	有効求人倍率(常用)	0.99倍
	新規求人数(前年同月比)	▲9.2%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲5.0%
全国	有効求人倍率(常用)	1.00倍

<11月>
事業主都合離職数 852人
(前年同月比 + 1.8%)



企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少している ～

11月の倒産件数は12件で、前年同月比▲14.3% (2件減) と3か月ぶりに前年を下回った。また、負債総額は15.1億円で、同▲23.8%と2か月ぶりに前年を下回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)